

ルーチンワークはほとんどなく、自分で考え、調べ、相談しながら進めます。



工場や建物の屋上設置型ソーラーパネル向けの清掃ロボットType1。パネルの配置を認識してブラシで砂や汚れを払い落とします。

エネルギー源はバッテリー。稼働時間は2時間で、1時間あたり2160㎡を清掃します。



株式会社 未来機械

今までになかった機械のニーズを見つけ、
企画・開発・販売する企業。

それぞれの作業に 最適な機械を創出。

香川大学発のベンチャー企業で、現在コア事業としてソーラーパネルの汚れを除去し、発電効率アップに寄与する清掃ロボットを開発・販売しています。目指すのはロボットによる無人化ではなく、自動化。砂漠などの過酷な環境下でも誤作動なく動き、砂や埃を払い落とすその機械は、人とロボットが共に作業する共働型です。中東地域のカタール、サウジアラビア、UAEやインドでも使用され、ソーラー発電やメガソーラー発電所の普及



ソーラーパネルに清掃ロボットを設置している様子。会社の屋上でも実験や研究を行っています。

に伴い、世界中から問い合わせや発注が相次いでいます。また、これまでに開発してきた橋梁検査ロボットやレーザー3次元センサーなども、高度経済成長期に集中整備された老朽化インフラのメンテナンスに役立つと期待されています。

現場のニーズや課題を、ハードウェア設計技術と頭脳となる最新の制御技術を駆使し、解決へ導く「今までにない機械を創る」という意味の社名。時間と費用が掛かる研究開発の仕事ですが、四国電力株式会社などからの出資を受け、可能性を夢で終わらせるのではなく、実現させる企業として各方面から注目を集めています。

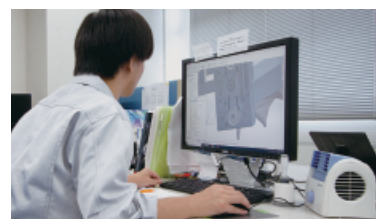
Staff Voice

ロボットに使っている回路系、バッテリーの担当です。海外の顧客のもとに出向き、ダイレクトなコミュニケーションで反応をキャッチしています。当社では互いの専門や得意分野を理解し合えるフラットな関係が築けます。同じ趣味と一緒に楽しめる、ものづくりの好きな人とカを合わせて働きたいです。

..... ロボット開発グループ 研究員 藤堂 卓也さん



Type1をベースにした、メガソーラー（大規模太陽光発電所）向けの大型機Type2。現在、インドでモニター試用されています。



製品設計に取り組むエンジニアは、ソフト（プログラム）、ハード（電子回路・機械部分の機構）に分かれます。

得意を生かして
ものづくりを
楽しむ。



Company Profile

高松ラボ：香川県高松市林町2217-44
ネクスト香川202

☎ 087-816-5112

☎ 087-816-5113

https://www.miraikikai.jp

設立 ■ 2004年3月

資本金 ■ 3,000万円(2019年4月現在)

従業員数 ■ 21名(2019年7月現在)



開発力で未来の課題を解決。

世の中の役に立つ新しい物を創り、普及させることにワクワクできる人材を求めています。今やパソコンなどのツールとインターネット環境があればどこでも働ける時代。自由度無限大のフレキシブルな働き方を採用し、新しい明日のニーズに応えていきます。

代表取締役 三宅 徹